



生活単元学習の計画と実施 ～ 中学部の取組紹介～

生活単元学習は、「各教科等を合わせた指導」の形態の一つです。各教科等の目標や内容が広く扱われるとともに、各教科等の目標を達成していくことが求められています。児童生徒の学習活動は、実際の生活上の目標や課題に沿って指導目標や指導内容を組織されることが大切とされています。

天王みどり学園の中学部では、通年でテーマを設定して実施する中心単元、進路に関する学習を行う単元、季節や行事等に関する単元などを組み合わせて計画を立案し、生活単元学習の指導を進めています。

中学部2年の取組



計画の立案に当たっては、昨年度の学習内容、各教科等の指導内容、生徒の興味・関心や課題、育てたい姿を踏まえています。

今年度の中学部2年では、中心単元のテーマを「米」としました。栽培や調理の他、校外学習や出前授業等、体験的な活動を多く設定することで、地域の豊かさや食文化への関心を高めるとともに、個々の課題に即して多様な経験を積めるよう工夫しました。

年間指導計画（4～9月分より抜粋）

月	単元名等	主に指導する教科と内容
4月 5月	潟上ツアーズ ～みどりの米プロジェクト～ ・米作りの一年 ・芽出し、種まき ・草木谷田植え体験（校外学習）	社会（産業と生活）Ⅰ段階（ア）㊦㊧ （我が国の地理や歴史）Ⅰ段階（ア）㊦ 理科（生命）Ⅰ段階ア（ア）㊦ 職業・家庭 （職業生活）Ⅰ段階ア（ア）イ（ア）㊦
6月 7月	潟上ツアーズ ～みどりの米プロジェクト～ ・自分たちの田んぼ作り （木枠、バケツ、雨水タンク） ・田植え ・水田の管理（水、除草） ・石川理紀之助について （県立博物館の出前授業）	社会（産業と生活）Ⅰ段階（ア）㊦㊧ 理科（生命）Ⅰ段階ア（ア）㊦ 美術（表現）Ⅰ段階ア（ア）（イ） 職業・家庭（職業生活）Ⅰ段階イ（ア）㊦㊧ 
7月	私たちの進路 ～お手伝いをしよう～ ・家の仕事、役割 ・簡単調理（炊飯、味噌汁） ・洗濯	社会（産業と生活）Ⅰ段階（ア）㊦㊧ 職業・家庭 （家族・家庭生活）イ（イ） （衣食住の生活）Ⅰ段階イ（ア）
8月 9月	潟上ツアーズ ～みどりの米プロジェクト～ ・稲の観察（計測、記録） ・農家の仕事（見学・インタビュー） ・みそたんぼ作り（調理実習） ・校外学習（米屋・たんぼ料理）	数学（測定）Ⅰ段階ア（ア）㊦ 社会（産業と生活）Ⅰ段階（ア）㊦㊧ （我が国の地理や歴史）Ⅰ段階（ア）㊦ 理科（生命）Ⅰ段階ア（ア）㊦ 職業・家庭 （職業生活）Ⅰ段階ア（ア）イ（イ）㊦ （消費生活・環境）ア（ア）
9月	私たちの進路 ～高等部について～ ・中学部と高等部の違い ・高等部見学、インタビュー	職業・家庭（職業生活）Ⅰ段階ア（ア） イ（イ）㊦ 社会（社会参加ときまり）Ⅰ段階（ア）㊦

指導する「教科」について

知的障害のある児童生徒に対する教育では、小学部6教科、中学部8教科を履修することとなっています。

時間の指導がない教科（時間割上に設定していない教科）は、各教科等を合わせた指導の中で扱うこととなります。

「段階」について

知的障害のある児童生徒に対する教育では、学年ではなく段階別に教科の内容を示しています。小学部は3段階、中学部と高等部は2段階が設けられています。

中学部1段階では、生徒が自ら主体的に活動に取り組み、経験したことを活用したり、順番を考えたりして、日常生活や社会生活の基礎を育てることをねらいとしています。

文部科学省著作教科書「星(☆)本」の活用



計画の立案や授業の実践では、学習指導要領解説と併せて、星本も参考にしています。

星本は、小学部・中学部の各段階に応じて、生活、国語、算数・数学、音楽、社会、理科、職業・家庭が作成されています。

指導計画を考える際の参考や、教材づくりのヒントにもなります。詳しい内容等をご覧になりたい場合は、ぜひご相談ください。

中学部1年の 取組

中学部1年では、中心単元のテーマを「カフェ」としました。働く場面の見学や開店準備、接客活動を通して、自己理解を深めたり、相手意識を高めたりできるよう工夫しました。



年間指導計画（4～9月分より抜粋）

月	単元名等	主に指導する教科と内容
6月 7月	中1カフェ① ・カフェに行ってみよう （校外学習） ・カフェを開こう① （材料購入の校外学習等）	社会（産業と生活）Ⅰ段階（イ）④ 職業・家庭（職業生活）Ⅰ段階ア（イ）
8月	中1カフェ② ・カフェを開こう②	社会（社会参加ときまり）Ⅰ段階（ア）④ 職業・家庭（職業生活）Ⅰ段階ア（イ） （家族・家庭生活）Ⅰ段階ウ（ア）



中学部1年 材料購入の様子

この他、中学部3年は、進学を見据え、職業・家庭科の指導内容に基づき「チャレンジ中3」として、仕事調べや職場体験、高等部体験、家庭での役割、調理実習や余暇活動を取り上げた学習を展開する予定です。

天王みどり学園の中学部では、生活単元学習を週に8時間実施しています。今年度は、「職業・家庭科」の目標・内容を押さえた体験的な学習活動を取り入れた授業の実施を重点としています。

地域研修会を開催します

7月28日（月） オンライン開催

テーマ 「場面緘黙のある児童生徒の理解と関わりについて」

講師 秋田大学教育文化学部こども発達・特別支援講座 准教授 鈴木 徹 氏



みなさんは、言葉話す力は育っているものの、園や学校など特定の場所・状況において話すことができないという様子のあるお子さん、生徒さんと出会ったことはありますか。場面緘黙のあるお子さんや生徒さんの背景として、どのようなことが考えられるのか、どのように関わっていくことが大切なのかについて、鈴木徹先生よりご講義いただきます。様々な不安を抱える子どもへの関わり方や対応を考える機会として、一緒に学んでみませんか。

日時 令和7年7月28日（月） 13:30～15:00

対象等 ・男鹿潟上南秋地区の各校・園および秋田市北部の各校には、既にご案内を差し上げております。申込みがまだの場合は、手続きをお願いいたします。
・県内各校および関係機関からご参加の場合は、下記の連絡先までお電話にてご連絡ください。手続き等についてご案内いたします。

受付 令和7年7月11日（金）まで

秋田県立支援学校天王みどり学園

TEL:018-870-4611 FAX:018-870-4612

教頭:渡部 陽子 教育専門監:小野 直子 支援部:遠藤 美和子

特別支援教育地域センター(男鹿市立船川第一小学校内):月・水・金

TEL:0185-24-3231

特別支援教育アドバイザー:小松 美幸

